



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和5年9月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

パンデミックからエンデミックへ

院長 芳賀 克夫

2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症ですが、早や4年目となりました。思えば我が国もダイヤモンドプリンセス号の集団感染など多くのことを経験してきました。この4年間で振り返ってみると、夏と冬に大きな流行を起こしています。いわゆる第1波から第9波までの流れです。今年の5月8日から新型コロナウイルス感染症は1類感染症相当から5類感染症へと分類が変わり、全数報告は終了し、定点医療機関のみの報告となりました。

定点となっている医療機関1施設当たりの報告数をみると、地域によってばらつきがあります。全国で見ると、熊本県や佐賀県、長崎県など九州地方は多い方です。一方、東京を初めとする関東地方や東北地方、北海道は少なく、熊本県の半分以下であることが分かります。熊本県の中でも、多いところと少ないところがあり、天草は残念ながら多い地区となっています。今後もこの傾向は続き、地域で流行を繰り返しながら、経過していくものと思われます。

感染症の世界的な流行をパンデミックと言いますが、地域的な流行はエンデミックと言います。新型コロナウイルス感染症は、パンデミックの状況からエンデミックの状況に変わっていったと考えられます。今後収束までは数年間はかかるでしょう。

新型コロナウイルス感染症への対策としては、やはりワクチンです。多くの患者さんをみていて感じることは、ワクチンを打った人と打っていない人では症状が全く違うことです。ワクチンを3回以上打った方は、症状は軽く、多くの場合は入院せずに飲み薬で治療できます。しかし、ワクチンを1回も打っていない方は症状が重く、時に残念な結果となる方もいます。当院に新型コロナウイルス感染症で入院され、亡くなられた患者さんの半分の方は、ワクチンを全く打っていない方でした。我が国では秋以降もワクチン接種が計画されていますので、まだ接種されていない方はぜひ接種されますようお願い致します。また、これまで接種された方も、新たな免疫力を得るために接種されてください。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

《新任医師のご紹介》

産婦人科 川中みなみ

2023年8月より産婦人科に赴任しました、川中みなみと申します。熊本赤十字病院で2年間初期研修を行い、昨年度に熊本大学産婦人科へ入局いたしました。出身地が、ここ天草の御所浦町であり、再び地元に戻り、天草の自然や人の温かさを改めて実感しております。今後、地域を支える存在となれるよう、日々努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



病院機能評価を受けました

病院機能評価準備委員会 城下勝孝

2023年7月25日、26日に病院機能評価の認定更新を受けました。そもそも病院機能評価とは何かというと、「国民が安全で安心な医療が受けられるよう、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価し、組織横断的な質改善活動を支援するツールです」とあります。

簡単に記すと、医療の質の向上と標準化を第三者組織が評価支援するというもので、認定を受けると組織・施設の運営管理、医療の質と安全などが適切に運用されていることを指しています。

終わりに今年度からJCHOグループ57病院に対して病院機能評価を受審できるよう応援体制が整備されました。医療の質を維持向上していくことは本当に大変なのですが、病院機能評価などのツールを利用することで、今後も質の高い医療を提供していきたいと思っております。



♪ 特定行為研修制度の研修を修了した看護師の誕生♪

当院は特定行為研修の指定実習機関であり、この度この研修を修了した看護師が生まれました。ではここで、少し看護師の仕事のことや、研修の説明をしたいと思います。

まず、看護師の仕事は保健師助産師看護師法により定められていて、「診療の補助」と「療養上の世話」とおおよそ二つあります。

後者の「療養上の世話」は、看護師の主体的な判断と技術をもって行う看護師の本来業務です。前者の「診療の補助」は、身体的な影響が軽微な医療行為の一部について補助するものであり、多岐にわたっています。ただし、医師または歯科医師の指示に基づかなければ実施できません。

そこで、チーム医療のキーパーソンである看護師が、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できるよう「特定行為に係る看護師の研修制度」が、保健師助産師看護師法に位置付けられ2015年10月から開始されました。研修を修了した看護師には、患者さんの状態を見極め、タイムリーな対応をすることなどが期待されています。

このように、時代は刻々と変化していています。これからも、看護師という専門職者は、国民の健康のニーズに応えるべく、日々の学びが必要となります。どんどん取得したいという看護師が増えることを願いたいものです。(看護部 古賀敦子)

この度、芳賀院長をはじめ内科医師、看護部のご協力の下、特定行為研修を修了することができました。

私が修了した特定行為区分は「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「感染に係る薬剤投与関連」の2区分です。これにより、症状に対して点滴の調整や、高カロリー輸液の調整、感染兆候がある患者様に薬剤の臨時的投与など3つの行為を、医師の手順書にそって実施できるようになりました。

この資格を取得したことで、今までは医師の指示を待って実施していた行為もそれを待たずに行えるようになります。これは、迅速な処置の提供により早期に患者の苦痛軽減がはかれることにつながり、また、医師の負担軽減にもなります。まだまだ安心、安全にこの行為を実施する能力は欠けませんが、日々研鑽し、実践できるようにしたいと考えています。どうぞ宜しくお願いします。

(4階病棟 荒木直美)



《栄養管理室より》

第2回市民公開講座を開催しました

管理栄養士 明瀬 奈津子

2023年6月30日当院において、第2回目の市民公開講座を開催しました。今回は、生活習慣病の1つである脂質異常症の食事に対する食事をテーマとしました。

脂質異常症とは、血液中の脂質であるコレステロールや中性脂肪のバランスがくずれた状態をいい、この状態が続くと動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中のリスクが高まります。食事療法は治療の基本となりますが、その中で、油脂の種類を考慮した食品選択、食物繊維の摂取などについてお話しさせていただきました。油脂のなかで、特に魚の油に含まれるn-3系多価不飽和脂肪酸には、血中脂質を低下させる作用があるため、魚の積極的な摂取をお勧めしました。又、脂質の吸収を抑える食物繊維を多く含む野菜や海藻類を毎食摂取することも大切です。これらの食材を取り入れた食事の試食も行い、食事の全体的なバランスについても確認していただきました。

当日参加してくださった方からは、「食生活の見直しが出来て良かった」「普段の食事にも取り入れていきたい」「機会があれば又参加したい」などの感想をいただきました。

今後も継続して講座を開催していく予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



令和5年度 第1回 医療安全研修会を行いました

医療安全管理室 山本 美智子

令和5年6月9日に、全職員を対象とした、医療安全研修会を行いました。今回のテーマは「ハイリスク薬について」と「誤認防止対策について」でした。ハイリスク薬とは副作用や事故にとくに注意が必要なもので、安全管理上も薬学的管理が必要な医薬品のことです。講師は松本副薬剤部長に行っていただき、医薬品の分類、毒薬と劇薬の違い、ハイリスク薬の種類・定義、当院でのハイリスク薬の実際の表示などの講義をしていただきました。また、その中で職員が活用できる薬剤部のインフォメーションのコンテンツの紹介がありました。薬に関するニュースや安全性情報、ハイリスク薬の情報など、欲しい情報にアクセスできるコンテンツです。スピーディーに情報入手できる利点があると思いました。

誤認防止対策の講師は医療安全管理者、山本(筆者)が行いました。昨年度、当院の事故内容の25%が誤認によるものでした。「安全は名前の確認から」と言われます。今回の研修では誤認のなかでも主に患者誤認予防について行いました。病棟での点滴確認や、外来で患者さん呼び入れる場面をストーリーにして研修を行いました。職員は心当たりのある場面設定で、分かりやすかったのではないかと思います。

今回、勤務の都合上、参加できなかった職員は後日録画ビデオを視聴してもらい職員全員が研修に参加できるよう工夫を行っています。



【部署紹介No.6】

《女性のライフステージに寄り添う2階病棟について》

2階病棟看護師長 楠森 直子

2階病棟は産婦人科を中心とした、整形外科・内科・口腔外科の混合病棟です。『新生児から超高齢期までの女性の一生を支援できるように心がけ、患者様・ご家族様に寄り添い、安心・納得してもらえるケアを提供します』を部署の方針とし、医療・看護を提供しています。

まず、妊娠・分娩・産後については、妊娠期から外来とも連携し、新生児については、天草地域医療センターの小児科医師とも連携し、安心・安全な良質なケアを提供できることを目指しています。特に、分娩後は個室対応による母児同室も行い、さらには、天草地域の産後ケアを利用して育児支援や母体の産後の体調管理ができるようにしています。



また、当院の助産師は、天草圏内(上天草も含む)の中学校・高校での性教育も行っています。近年、ニーズが高く、夏休みや冬休みの長期休暇前の依頼が多くなっています。

これらのように周産期を中心とし0歳児から、さらには超高齢期の女性を対象にしており、産婦人科領域のがん化学療法やその他リハビリ期、大腸ポリープ切除、抜歯などの患者様の受け入れも行っています。幅広い年齢層と疾患の患者様が入院中に不安なく過ごせるように心がけています。

さて、当病棟には助産師9名、看護師10名、看護補助者3名が在籍しております。令和5年度は新人助産師、新人看護師各1名を迎え、スタッフ全員、知識と技術の向上を目指し、日々研鑽しておりますので今後ともよろしくお願ひします。



私たち新人も、先輩達の背中をみて成長しています♪

天草地域リハビリテーション広域支援センターの取り組みについて

理学療法士 松下 秀人

当院は平成12年度から地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、天草圏域における医療・保健・福祉分野の地域リハビリテーションの推進に関わる連絡会議やリハビリテーション専門職の派遣調整、研修会として年2回(転倒予防、摂食嚥下、運動器機能向上等)、相談支援として年12回(介助指導、歩き方指導、腰痛体操、体力測定体験会等)、通いの場におけるいきいき百歳体操指導を行ってきました。

下の写真は当センタースタッフによるいきいき百歳体操に対する運動指導や歩き方指導、体力測定体験会の様子です。参加者は各研修会が40名前後、相談支援は20名前後と多くの方に参加して頂いており、研修会終了後の質問も活発で「体操の正しい方法が知れてよかった」や「自分の歩き方や効果的な体操が知れてよかった」等の声が聞かれています。

当センターは理学療法士7名、作業療法士3名、言語聴覚士1名が在籍しており、さまざまな相談に柔軟に対応させていただきます。今後も高齢者や障害のある人々が住みなれた場所で、一生安全にその人らしく生活が送れるように支援していきたいと考えております。お住いの地域で何か困った事があれば、お気軽にお問い合わせいただきますようお願いいたします。



いきいき百歳体操指導



体力測定体験会



歩き方指導



介助指導

【新人職員の紹介】

2階病棟 助産師 飽田 陽菜

4月から2階病棟に配属になりました、飽田陽菜です。現在は先輩方にご指導いただきながら、患者様の受け持ちやケア・処置を実施し、基礎看護技術の習得に努めています。日々学ぶことや覚えていることの多さに苦戦することも多いですが、着実に成長できるよう努力していきたいと思います。知識・技術ともに未熟で至らない点も多いと思いますが、患者様と一緒に働く周囲の方へ思いやりを大切にこれから精一杯頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



2階病棟 看護師 田中 礼

4月より2階病棟に配属されました、田中礼(たなかあや)と申します。まだ業務を覚えることに精一杯の毎日ですが、笑顔を忘れず患者様に接し、患者様が抱えている不安の軽減につながる看護を行うことを目標に日々努めています。医療従事者としても社会人としても未熟者で至らない点も多いと思いますが、常に学ぶ姿勢や向上心を忘れず、医療従事者としての責任を持ち、患者様が安心して療養していただける看護を提供できるように精一杯精進していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



3階病棟 看護師 四藤 遥

天草中央総合病院に入職してわずかですが、たくさんの学びがありました。まず、研修では内容に応じて専門職の方が行われるため、看護師の視点では気づけないことに目を向けることができました。次に配属された病棟では、先輩方から教わることも多々ありますが、患者様から感謝の言葉を頂く度に自分が看護師を目指した理由を振り返ることができています。そのため、日々学んでいく中でもやりがいを感じながら働くことができています。これからも、自己研鑽を積み、知識・技術を兼ね備えた上で患者様の思いに寄り添いたいと思っています。



3階病棟 看護師 明瀬 蓮華

入職してまもなく、業務に慣れていませんが、病棟の先輩方やプリセプターさんを中心として、日々、様々なことを学ばせて頂きながら、楽しく働いています。「やさしさと思いやりのある医療をすべての患者様へ」という中央病院の理念を大切に、一人一人、患者様と向き合いながら努めていきます。また、患者様にとって1番良い医療・看護を提供できるよう、他職種の方々と協働しあい業務に励んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



3階病棟 看護師 仲瀬 みはる

私は高校卒業後天草を離れていましたが、出産・育児を機に自分が生まれ育った故郷で子育てをしたいと思い、知人の勧めもあって天草中央総合病院を志望しました。仕事と子育ての両立はとても大変ですが、家族や職場の方々の支えにより日々仕事に励んでいます。まだ慣れない事も多くありますが、地域住民の方々に必要とされる看護師になれるよう精進したいと思います。



医事課 柴田 優羽

はじめまして、こんにちは。4月から新しく入職しました、医事課所属の柴田優羽と申します。出身は熊本県熊本市です。大学では民法や会社法等の基礎的な法律を学んでいました。医療の知識はほぼないのでできることから挑戦したいと思っています。また、天草に住むのは初めてで土地勘もないので、おすすめのお買い物場や飲食店があれば教えてください。拙いところも多いかと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



2023年 外来診療担当表(9月)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分 (受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内科	呼吸器内科	小松 太陽		金子 篤志 小松 太陽		金子 篤志
	消化器内科				岩 澤 秀	岩 澤 秀
	腫瘍内科	熊野 御堂 慧			熊野 御堂 慧	
	血液内科		宮家 宏 定	松岡 雅雄 (第2・4水曜のみ)		大 学
	循環器内科				荒 木 智(大学)	
	代謝内科	吉積臨太郎(大学)				
	緩和ケア	松本 衣里 受付時間: 9:00～11:00				
	二次検査 担当		竹口 東 一 郎	竹口 東 一 郎		
外科	診 察	坂本 慶 太	村上 聖 一	坂本 慶 太	(担 当 医)	村上 聖 一
	乳腺・その他 検査	竹口 東 一 郎	坂本 慶 太	村上 聖 一		
	備 考	火・木・金曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。 木・金曜日は乳腺・その他検査が出来ません。第1・3・5木曜日の午前は手術です。				
整形外科		木山 貴彦	木山 貴彦	真田京一(第1・3・5)	木山 貴彦	弓場 久嗣
		弓場 久嗣	弓場 久嗣	森 修(第2・4)	斧出 大紀	斧出 大紀
		斧出 大紀				
	脊椎外来			真田京一(第1・3) 受付時間: 10:00～15:00		塩川 晃章 (第3金曜のみ) 受付時間: 10:00～15:00
	備 考	手術は毎週水曜日(午前・午後)・第1・3・4金曜日(午後)です。				
産科	荒木 真佐子	下川 理沙 川中みなみ	荒木 真佐子	下川 理沙 川中みなみ	荒木 真佐子	荒木 真佐子
婦人科	下川 理沙 川中みなみ	荒木 真佐子	下川 理沙 川中みなみ	荒木 真佐子	下川 理沙 川中みなみ	下川 理沙 川中みなみ
			片渕 秀隆 (第2・4水曜のみ)			
放射線科	担 当 医	吉住 和 弘	原 井 亮 太	原 井 亮 太	担 当 医	
			山口晃世(大学) (放射線治療医)		松山知彦(大学) (放射線治療医)	
皮膚科	島田 秀一(大学)			大 学		
歯科口腔外科	田中 拓也	田中 拓也	田中 拓也	田中 拓也	田中 拓也	田中 拓也
	永尾 優果	永尾 優果	永尾 優果	永尾 優果	永尾 優果	永尾 優果
	午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・第1・3・5木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。					

◎学会等により休診となる場合もございますので御了承ください。



独立行政法人地域医療機能推進機構
天草中央総合病院
 〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL) 0969-22-0011(代表)
 FAX) 0969-24-1808(連携室)
 0969-24-2108(医事課)